

日刊 昭和十五年十一月二十一日
発行所 新報社
印刷所 新報社
電話 二二二二
定価 二角五分
代金 二角五分
郵費 二角五分
送料 二角五分
新報社
〒一〇〇〇
東京市千代田区

今日から愈々実践的 假裝敵機來に張切る各班

基本訓練から綜合訓練を履んで休日を費した平市警防團は、家庭群と共に前夜半の空襲で疲勞ある身を目せし、第三期實戰訓練に入る。今廿八日張切る要意に待つ午前七時五十分の空襲警報、この日假裝敵機が來る筈なので夫れと同時に行動を開始すべく一様に空を睨んで活氣を抑へつゝ待つこと約四時間、機影を止めるに聊か手持なく氣の緩む正午頃敵機來た、の聲各所に起るや爆發的な活動となつて各所の投下彈に目ざましき働きを見せて十二時十分空襲警報解除、就中敏捷を賞されたものは四丁目金光堂附近の建物に爆彈投下電柱二本を折損した工作班の應急修理は激賞を受けた。

平公園下に建つ 軍馬の忠魂碑

第一線に活躍せる無言の勇士軍馬の戦病死に對し其の忠魂を弔ふべく平署管下牛馬商組合、平署警署、平市及び同市郷軍聯合分會、石城郡馬組合が企圖する建碑は第二師團長高木義人中將の揮毫され「義領報國恩と軍馬忠魂」の工が進んだので此の程建設

十一月下旬に除幕式

地に撰んだ平公園研町表坂下の性源寺境内に地鎮祭を執行したるが来る十一月中旬までに竣功の見込み式は同月下旬に舉行の豫定である、工費一千餘圓を要してゐる。

種狸褒賞授與

本縣養狸組合聯合會主催の第一回種狸褒賞授與式は十一月一日に舉行

舊ランプの使用者 石城で二千戸以上

電化の世に嘘のやうな数字、平市近郊にも相當多、石城郡農會では石油の配給に資するため郡下各町村からランプ使用者の調査を集めてあるが其の實數が意外に多いので驚かされてゐる、それが山間地ならまだしも平市の近村にすら相當にあるのだから想外である、開けた御代の電化は大抵の僻地にまで及んでゐると思ふ電燈が今尚ほ頑固な舊ランプに退けられてゐるものが本月末までに纏まるの總數が實に二千戸を越えるのでないかと豫想されてゐるが役場からの報告を得た。

葉煙草の優良作 反當二百十二圓

石城郡山田村の生産、好成績の収獲を上げてゐるが廿五日收納の山田村産には反當二百十二圓七十八錢と稱する圖抜けた優良品があり廿七日の植田町産には反當百八十八圓に算當されるものがあつたので耕作倍加に計畫に栽培者の氣をそつてゐる。

各濱の工夫不足

石城各濱は揚揚操網の漁期を控いて諸準備中であるが備みは勞務者の不足などで煩通の約倍額と云はれてゐる、一ヶ月(附付廿五圓)卅圓馬、會津、山形、新潟方面

支那語
市政府は同じく市政府だがシチオンフと呼び、縣政府も同一文字でシエンチオンフ、警察署のことは公安局と稱してクンファンチユイ裁判所は法院と稱してフアイユアンと呼ぶ。

戦地の便り 嬉しいものは 矢つ張手紙です

男も女も身に堪えるだけの職場に出られまして、或る新聞で見ますと某都市の鐵工所に入りたる可憐な女性が荒くれ男と共に工業發展の爲めに離れて居られまこと、其の他種々の美談がありましたが全く涙なくしては讀むことの出来ない美談であります、銃後の皆様に私達戦線の一同が只管に感謝申上ぐる次第であります、銃前後の連繫これが國家總動員でありまして一貫せる國家意志の表現であります、戦地に來まして嬉しい事は矢張り手紙が一番であります、また偶然に同郷、同郷の知人に遇つた時の如きは互に涙と涙

義憤の傷害犯に 同情ある判決

石城郡内郷村の高坂繁次郎、夫長谷川市蔵(三)が合宿所圓谷清内線後藤たつ(三)の胎の悪いとの織子虚めを義憤し海軍ナイフでたつを脅迫し仲裁に入りたる勞務員二名に斬つた住居侵入並に脅迫の公判は廿五日平支部に開かれ休刑六ヶ月三年間執行猶豫の同情ある判決に服罪した。

役場の落成式 村民体育大會

石城郡泉村では來十一月三日明治の佳節を以て全村民の体育大會を小學校庭に開催し小學生並びに青年校生陸上競技に合せ、柔剣道相撲の大會を催す筈であるが尙ほ同日は工費六千九百圓で出來た村役場の落成式をも舉行戦線から同建築費を寄附された同村出

小名濱に鯛の各 種食料加工工場

鯛の養殖を好食料に加工する東京不二水産化學工場では小名濱町に工場設置を決し字松の中の同町信用組合經營石城水産加工工場を利用する筈であるが同加工は生鯛を一旦脱油して煮汁を造り、味力、と稱する養殖品グルタミンを製出その副産物にデキスターを各工場及び軍部への納入を約され尙ほ個裝製造をもなす準備中である。

思ひ 出る まよひ

(8) 大森 勇
飛行機の爆彈投下位男壯なるのはまたとあるまい。蒼が地上の餌を捜す如く、空中を廻つて敵機を偵察する。獲物を見付けると目的物に向つて一直線に落下して來る。墜落するのであるまいかと心配される低い處迄落下すると、鷲が卵を産み落す様に爆彈を投下する。砂煙が上がる。物凄い爆音が鳴り響いて來る。爆彈投

思ひ 出る まよひ

しがるとかの消極的の感情は遠慮して欠席するらしいのだ軍艦からの發砲も勇壯の限りである。砲口からパツと火を吐く。天地が砕けるかと思はる。大きな音がする。サランで端書を書いてたら卒然軍艦からの砲撃が始つた。あとで見たら端書の字が霞んで居た砲撃が恐ろしく手が震ひたのではなく、發砲により空氣の震動によつて字が霞ひた事は説明する迄もなからう。大きなビルディングの二階に、直徑一間以上もある様な大きな穴が二つ三つあいてゐる。こ

文魁文堂
ホシエス二色
シャープペンシル
一本金五拾錢以上
シャープでしつ一流
品ホシエスを御指名願
ひます。
御進物としては立派な
化粧箱を用意して御座
ります。

身佐藤長丸少尉、吉田學治曹長、松本榮、上遠野勝兩上等兵並びに星野正之、星野正幹、上遠野千枝さんの諸氏に村長から感謝状を贈られる。

産業方面

家畜は樹實で飼養出来る

(中) 飼料飢饉の解消に採取運動
同博士は代表的果樹類五種につき次の如く養成分を明示し従来の飼料よりも果實飼料が遙かに有効な點を指摘した、即ち果實類の成分を一瞥してみると、

果實類	澱粉	蛋白質	脂肪	味
柿の實	五	六・五	四・〇	苦
(乾・皮共)	六	八・五	四・八	苦
同	七	六・五	二・〇	澁
(乾・皮無)	三	三・五	三・〇	澁
橙の實	一・八	三・五	三・七	五
(乾・皮無)	一・八	三・五	三・七	五
ぶなの實	一・八	三・五	三・七	五
(乾・皮共)	一・八	三・五	三・七	五

で木の實には澱粉が非常に多く、皮のないものは米、麥、稗等に近い數字を示し牛馬豚羊兎鶏等の飼料として、もつて來いの良さを示し食料としても用途が廣いことがわかる、尙ほ同博士が試みに仔豚を柿の實と、どんぐりで飼育したところ豚の自らは百キロを超え素ばらしい肥豚となつて肉の歩合もよく養分状況も理想的だと云ふ、かくの如く果實類は新興飼料資源として素晴らしい優位性を示してゐるので採取運動の意義は極めて重要化し成果を期待されてゐる

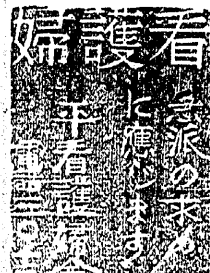
右について岩田博士は斯く利用せよと語るところを報導すれば農山村へ木の實の用方を次の如く教えてゐる、

橙の實、(シタミ)拾ひ集めた橙の實を其まゝ水の中に二、三日間漬けて虫を殺した後、漚に廣げて乾かし俵に入れて貯へる、

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢



内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平市南町 電二五八番

電話五九二番
に變りました
喫食 事。
酒場を兼ねた。
喫茶。
レストラン サロン
平市銀座街

肋膜炎 氣管支 關節神經痛 肺炎 口イマチス
扁桃線 中耳炎 骨髄炎 腰痛 痔瘡 疾に……
生公華
藥價・九十五圓
二四二〇號
四〇四
山野邊藥局

治淋新藥 六〇七號

大小の御宴會に……
御家族の御同伴其他の
御集ひに御座敷……

味覺實質 マルトモ食堂
衛生萬點の
平市四丁目(電話二二三番)

債券、公債
兩替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
院醫尻江
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

秋より冬にかけて 婦人洋品
シヨールと防寒具
可愛い子供さんのお洋服
お帽子とお洋服
豊富陳列して御座います
ツルヤ
平電140

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 **五十嵐雄二**
平市新川町「電話三六九番」

便利で 日下家政婦會の
經濟な 派遣婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何を任せしても安心です
平市白銀町十番地 (電話七二三番)
日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

金網赤口
良品廉賣は
高久病院
平市大町二番地

開業
内臓外科 内木外科醫院
整形外科 醫學博士 内木宗八
入院隨時
平市大町二番地

内科、小兒科 平市田町 電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠